

「ひと・もの・ハコぶ」

有田鉄道とヤマト運輸が「客貨混載」を開始

有田鉄道株式会社（代表取締役社長 川村健一郎）とヤマト運輸株式会社（代表取締役社長 長尾裕）は、JR 藤並駅と清水地域を結ぶ路線バスで宅急便を輸送する「客貨混載」を開始しました。

鉄道や路線バス、タクシーをはじめ、町が運行しているコミュニティバスなどの公共交通は、皆さまのご利用により成り立っています。二酸化炭素の排出量が少なく、地球にも人にも優しい公共交通機関を積極的に利用しましょう。



有田川防災まちづくり vol.23

どうする？災害時のトイレ

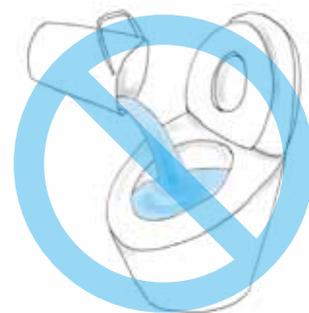
問 吉備庁舎総務課

過去の震災において被災者が困ったこととして、多くの人が口にするのは「トイレ」です。災害時には、断水や排水管の破損などにより、トイレが使用できない恐れがあります。無理に使用すると、余計に復旧に時間を要することも…。

災害時のトイレ問題。今一度、対策を考えましょう。

断水しても、バケツ 1 杯の水があればトイレは流せると言われていますが、災害時には排水管の破損などの恐れがあります。

被害がなかったことが確認できるまで、使用するのを控えましょう。



●簡易トイレの作り方



既存のトイレを使用する場合

材料は、ポリ袋と新聞紙。
便座を上げ、ポリ袋を二重に被せ、細かく砕いた新聞紙を重ねて使います。

持ち運べる簡易トイレ



材料は大型バケツもしくは段ボールとポリ袋、新聞紙。

大型バケツなどにポリ袋を二重に被せ、細かく砕いた新聞紙を重ね、使用します。

※使用後は有田川町のごみ廃棄ルールに沿って、処分してください。